



全道優勝大会



速報

準決勝へコマを進めるのは？ 緊迫した試合の結果は

大会2日目、31日から降り続いた雨は止み、2回戦及び準々決勝が4球場で12試合の熱戦が繰り広げられました。

静内古川公園球場

【赤平市職労3・2新ひだか町職】
両チームが攻め手を欠く中、新ひだかが先制するもすぐさま、赤平が同点に追いついた。その後、両チームの好投のなか、無得点が続くも8回裏赤平が追加点を挙げた。新ひだかには、奥野選手の同点安打で追いつくも、9回裏西原選手のサヨナラ安打で赤平が勝利をおさめた。

【知内町職4・0枝幸町職】
後半まで両投手の好投と堅い守りで無得点が続いたが、7回知内、沖津選手の二塁打、続く成田選手の左前安打で先制。最終回には、成田選手の2点本塁打を含む3点を挙げた。投げては、佐藤投手が2安打完封の力投を見せた。

●準々決勝

【知内町職4・3赤平市職労】



2回表赤平は、一死満塁から押出し四球で1点を先制。5回裏に知内は、相手の守備の乱れから同点に追いつく。6、7回と赤平が追加点を入れるものの、9回裏4連打で同点に追いつき、延長戦へもつこみ、延長11回裏一死満塁から庭選手のサヨナラ打で勝負を決めた。

新冠町民グラウンド



【苫小牧市職労4・1上川町職労】
上川は、初回桑野選手の2塁打から犠打、バツテリリーエラーにより1点先制。苫小牧は3回千木良選手が出塁すると犠打で2塁に進むと3塁への盗塁が相手のミス

を誘い同点に追いついた。7回苫小牧の山口選手の気迫のヘッドスライディングで出塁すると近澤選手の二塁打で1点、8回にも2点を追加し、上川町職を突き放した。

【網走市職連8・0寿都町職】

3回表、網走の増田選手の安打、盗塁から高村選手、大西選手の連続タイムリー安打で2点を先制。4回にも吉村選手らの安打により2点を加えた。さらに7回には4点を加え、コールド勝ちとなった。寿都打線は、吉村投手に2安打に抑え込まれた。

●準々決勝

【網走市職連2・1苫小牧市職労】
網走市上投手苫小牧成田投手の好投により得点圏に進めるも無得点が続いた。5回裏苫小牧近澤選手の3塁打から田中選手のエンドランで1点を先制するが、7回網走は3連打で同点に追いつくと、8回に大西選手の本塁打で逆転。苫小牧も9回2死満塁と攻めたが、あと一本がでなかつた。

浦河町潮見ヶ丘球場



【白糠町職2・1帯広市職連】
前半両チームとも1点ずつを挙げ、帯広、牧野投手、白糠、平下投手の投げ合いで試合が進む。延長戦に突入、延長12回でも決着がつかず、今大会初の特例延長戦に入り、13回裏白糠、安宅選手の犠飛でサヨナラ勝ち。

【石狩市職労7・0別海町職】
序盤は、石狩、部田投手、別海、村山投手の投げ合いでゼロ更新。5回裏石狩、部田選手の右前安打で先制し、6回裏には、鈴木謙選手

の2ラン本塁打で追加、さらに7回裏に4本の安打などで一気に4点を挙げコールド勝ちをした。

●準々決勝

【白糠町職3・2石狩市職労】
白糠は初回、安打、犠打で2塁に進め、清野選手の中前安打で1点を先制した3回にも1点を追加したが、4回表石狩、氏家選手が本塁打、5回に同点に追いついた。しかし、白糠は太田選手が本塁打で突き放した。石狩は8回にチャンスをつかんだが、得点できなかつた。

三石緑ヶ丘公園球場



【北広島市職労1・0南幌町職】
南幌、金井投手、北広島、名和投手とも変化球を低めに集め、緊張感。ただよう投手戦となった。6回無死から四球で出塁すると足を使った攻撃で1点を先制。南幌は6、7回とチ

ヤンスをつくるがあと一本が出ず。金井投手は毎回の13奪三振の好投が光った。

【新冠町職1・4・2音更町職】
新冠は、初回に3点を奪つと、2回に中屋選手の3ランなどで序盤からリードを広げた。その後も毎回得点を挙げ、5回コールド勝ちをおさめた。音更は、前日好ゲームしたメジャーの大半を欠く形で3回に得点を挙げたが、後が続かなかつた。

●準々決勝

【新冠町職3・0北広島市職労】
北広島、福田投手の3者連続三振で始まった試合、3回新冠は、3本の長短打などを重ね、3点を先制。北広島も7、8、9回と2人ずつランナーを出すものの、新冠の好守にも阻まれ得点することができなかつた。